

視聴覚教育

夏の視聴覚講習会

現職教育委員会視聴覚部・視聴覚ライブラリーでは、本年度も次のように夏期実技講習会を開催します。

視聴覚教育技術者（16ミリ）講習会

●開催日 ・七月三十日（土）

●場所 ・太陽の城

●対象 ・学校教育関係、社会教育関係

（操作認定証をお持ちでない方）

●目的 ・16ミリ映画についての知識と16

ミリ映写機の操作技術を身につけ活用できるようにする。

●内容 ・16ミリ映写機の諸機構の理解と

16ミリ映画の教育的活用
・16ミリ映写機の操作実習

VTR実技講習会

●開催日 ・八月一日（月）、八月二日（火）

●場所 ・六名小学校、太陽の城

●対象 ・学校教育関係、社会教育関係

No. 204

発行日

6. 7. 2

発行

岡崎市AVL

編集

広報委員会

視聴覚キーワード

『リテラシー』

情報を伝達するためのさまざまなメディアを使いこなす能力。メディアの表現手法の理解に加えて、映像・画像による自己表現の能力の育成が求められている。

目的

・ビデオカメラやVTRの基本的な活用方法を身につけ、学校・社会教育の場で生かせるようにする。

内容

・初級一日コース
撮影を中心に、簡単なつなぎ撮りを行う。（月もしくは火）
・中級二日コース
撮影から、簡単な編集を行い作品制作を行う。

校内放送講習会

●開催日 ・八月四日（木）

●場所 ・太陽の城

●対象 ・放送担当児童生徒・教師

●目的 ・各小中学校の校内放送の情報交換や実習を通して、各学校の校内放送のいっそうの充実を図る。

内容

・校内放送の実践報告
・NHKアナウンサーによる指導・実習

Ⅱ 視聴覚教育あれこれⅡ

新しい学力観の中での

視聴覚教育の役割

（視聴覚的な活動が新しい学力観を実践に移していく際の大きな柱になりうると述べた後で）

「現代は生涯学習の時代です。学校教育は、人の生涯学習の出発点として、『学ぶ意欲を持ち、学ぶ方法を身に付けた』子どもの育成に責任を持たなければならぬ時代になりました。また、流されてくる情報を無批判に受け入れたりしない、自立した人間を育てることが学校教育の責務になったと云うことであります。視聴覚教育は、そのため大きな貢献をなしうる活動の要素を持っています。知識や情報を系統的に効率的に伝える活動のほかに、子ども自身に知識や情報を発見させたり、まとめさせたりする活動もあります。こうした活動の要素をよく知って、学校教育のあらゆる場面に視聴覚的な活動を適切に組み込んでいくことが、いま求められているといふことでしょう。このことを、すべての教師に知ってもらおうことが、新しい学力の育成には不可欠であると言っても良いと思います。」

平沢 茂（文教大学教授）

『視聴覚教育6月号』より抜粋



視聴覚機器を活用した

書写指導

甲山中学校 岡庭 博之

本校では『自己教育力を高める』をテーマに研究を進めている。その中での一つとして、視聴覚機器の活用を考えている。五月には、国語科の研究授業で、OHPやビデオフロッピー(VF)を用いた実践を行った。

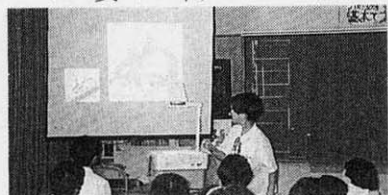
題材は、日頃必ずしもていねいに書こうとはしないひらがなに注目し、「整ったひらがなを書こう」というものである。

VFに、必要な写真や絵をあらかじめ教材提示装置を利用して取り込んでおく。授業の導入で、中学校一年生と小学校一年生の文字、さらにワープロの文字をテレビ画面に映し出していく。

次に、クラスの仲間の字を書いている姿を映し出す。

「○○君だ。」と笑い声が出て、授業の緊張がほぐれてくる。何枚か見るうちに、姿勢の違いに気づき始め、生徒から自然に姿勢を直す動きが見られるようになった。

続いて、小学校一年生のひらがな練習帳。拡大され、ただたどしいがていねいな字がある。



その後の自分たちの国語のノートとの比較。「誰の字だ。」との興味から、「どう見ても、小学生の方がうまく見える。」へと、生徒の心が動き、生徒の追究への意欲が一気に高まる。そこで、OHPを利用して、漢字がひらがなに変わる過程やひらがなを書く時のポイントなどを示した後、実際に書かせた。始めに書いたひらがなとは比べものにならない、整ったひらがなが次々に出現することとなった。

II レッツ トライ II

ビデオプリンターの活用

道徳の授業において、テレビ番組利用の際、視聴後に、ある場面についての主人公の気持ちについて考えていくという方法がよくとられている。この時キーシートの場面絵が指示されながら、話し合いが集められていることと思う。

本校には、カラービデオプリンターという、テレビ画面を印刷できる機器がある。大きさが官製葉書くらいのをさらにB4の大きさに拡大カラーコピーして授業で活用している。拡大した場面絵(キーシート)を黒板に提示しながら話し合うのである。一時間の授業では、二〜三枚用意しておけばよい。

場面絵にふきだしを書きながら、話し合いを焦点化していくというのも一つの方法である。また、切り離したり、主人公をプリントアウトするなど多様な活用が可能である。

(細川小 鈴木 淳二)

ライブラリーだより

☆親子映画会開催のお知らせ

市内の各市民センターにおいて親子映画会を開催します。当日、整理券(市教委社会教育課会場の各市民センター、ライブラリーにあります。)を持参のうえ、ご参加ください。なお、日程は左記のとおりです。

- 7月17日(日) 六ツ美市民センター
 - 7月31日(日) 矢作市民センター
 - 8月7日(日) 岩津市民センター
 - 8月14日(日) 東部市民センター
 - 8月21日(日) 大平市民センター
 - 8月28日(日) 南部市民センター
- なお、上映映画については、後日、チラシ及び市政だよりでお知らせします。(アニメ映画3本を上映予定)
- | | |
|---------------|--------|
| 各市民センターとも上映回数 | は二回です。 |
| 第一回 | 午前10時〜 |
| 第二回 | 午後1時〜 |

☆新規購入機器の紹介

・トランスペアレンシー作成機
ピクセルJET

高画質のA四判カラーTPを簡単に作成することが出来ます。

写真やビデオ、コンピュータの映像を取り込みます。利用に際しては必ず事前にライブラリーへ連絡してください。

